の稼働を
20年以
で土木・建
開してき
業も「地
り組みた
業総轄本
ーション
長）とし
には土壌
水質の環
浄化や再
ネなど環
関連で、
事業に占
る売上高
率を現在
10%から
%に引き
げること
目指す。

三菱ケミ子会社買収

ヤシマHD、樹脂材料拡充

ヤシマホールディングス（HD、大阪市西淀川区、山本大介社長）は、4月1日に三菱ケミカルの樹脂材料生産子会社、大成化薬（三重県伊賀市＝写真）を買収する。買収額は公表していないが、数億円とみられる。ヤシマHDは既存の樹脂材料事業が自動車減産などの影響を受けているが、今回の買収でポリビニルアルコール（PVA）水溶液などの材料加工の幅を広げる。2022年12月期の売上高は前期比約1割増の22億円を目指す。

大成化薬の商社機能は、三菱ケミカルグループの商社再編で誕生したMCCトレーディング（東京都港区）に統合されており、生産機能をヤシマHDが買収する。大成化薬は接着剤や紙加工に使われるPVA水溶液など樹脂やゴムを溶解し、顧客の求める材料を受託加工している。種類、大きさともに多様な加工設備が強み。今後も三菱ケミカル向けの材料生産は継続する。

ヤシマHD子会社で東亜化成品（京都府宇治市）が粘度の高い樹脂材料の加工を車向けに手がける。液体材料が主力の大成化薬が加わり、材料加工の幅が広がる。子会社相互の販路活用も見込める。

ヤシマHDの車向け事業は半導体不足などによる自動車減産の影響で売上高が微減傾向。原材料高騰によりコストも増えている。大成化薬の子会社化で車向け以外の材料事業を拡大し、間接部門の効率化も進める。

る計画。など将来的りが想定周波数帯域り出す電子Wフィルタ拡大すると。LNとに対応への対応はあった。では性能を施すなど需要が増えるとみている。

現在、LNやLTウエハーの主流は同4ﾁﾞだが、同6ﾁﾞへの移行が進みつつある。

ただ同社は先行して同8ﾁﾞ製品を量産することでSAWフィルターの生産効率向上に一早く貢献する構え。同8ﾁﾞ製品では結晶育成で異状成長が起きやすく加工時に割れやすいなどの課題があった。

成長環境の制御を最適化するなど工夫した。

同8ﾁﾞのLTやLNのウエハーはシリコンウエハーの主流と直径が同じで貼り合わせることが容易。高い周波帯に対応できる高性能な「接合型SAWフィルター」を実現する材料として需要増を期待する。

タル人材が不足している。中小経営者は、年代を問わず全ての従業員のITリテラシーを向上するほか、デジタル人材の確保・育成と若手の活躍を進める必要がある。ITベンダーやIT支援機関などの外部専門家の活用も求められよう。専門家が一度訪れて支援するだけではデジタル化の導入はままならない。伴走型の支援が必要となる。

東商としても、2019年から中小企業・小規模事業者1万社にアプローチして、IT活用を総合的に支援する「『はじめてIT活用』1万社プロジェクト」を進めており、順調に支援先を拡大している。

当社としては、製造工程の効率化を支援する製造DX支援の「NAVINECT」を提供している。工場の設備にセンサーを設置し、温度や電流量などの稼働情報や在庫情報を収集。集めたデータを分析して設備の故障予兆や生産性向上につなげている。

中小企業を含めたサプライチェーン全体のデジタル化に協力していく。

産業春秋

新型コロナ医療の最前線は危険と隣り合わせだ。第6波の沖縄県では医療従事者に感染が広がり、人手不足から一般診療まで制限する事態が起きた▼名古屋大学未来材料・システム研究所の内山知実教授らの研究チームは、空間遮断とウイルス不活化の機能を併せ持つ循環式エアカーテン生成装置の実用化にめどを付けた。1年以内の事業化を目標に4月からメーカーと製品開発に取りかかる▼気流の壁をつくる窓枠型の装置と、気流中のウイルスを不活化する装置で構成する。気流を発生させるノズルの出口には航空機の翼のような構造を採用し、エアカーテンに腕を通しても気流が破れない高強度の遮断力を可能にした。問診や採血を安全に行える▼不活化装置の開発は、高効率青色発光ダイオード（LED）の発明でノーベル物理学賞を受賞した同研究所の天野浩教授が協力。深紫外線LEDの光を気流に照射し、ウイルスを効率良く検出限界以下まで不活化できることを確認した▼製品は卓上型に小型化し、受け付けや会議室、飲食店などでも利用できるようにする。医工連携はコロナ共生社会を手にするための一助となるか。先端科学とモノづくりの共演に心が躍る。

2022年3月30日

23 すくい取りヘラー硬さ自在に
東北大、セラ材料向け

27 デフケース複合加工機
ハル技術研究所

インタビュー
05 GSIクレオス社長・吉永直明氏

新連載
02 AI人材×中小
～経産省、育成事業推進

新型コロナ支援策 26面

中小政策面 火曜・金曜日掲載

火曜・木曜日に掲載している「中小・ベンチャー・中小政策」面は今週から火曜・金曜日掲載に変更します。金曜日掲載の初回は4月1日付です。木曜日掲載「輝け！スタートアップ」などの企画はすべて継続し、金曜日に掲載します。

【広告特集】
オシロスコープ 14―15面
溶射技術 20―21面

大災害時のＩＤ発行について

大規模自然災害で印刷所からの新聞輸送に支障が生じた際は、月ぎめご購読者に限り電子版が一時的にご覧になれます。ウェブサイトhttps://www.nikkan.co.jpからお入り下さい。

日刊工業新聞社

www.nikkan.co.jp

AutoCAD と高い互換性のIJCAD
CADも ジェネリック で！
永久ライセンスで
税込￥75,625～
IJCAD で検索
システムメトリックス株式会社

IAI Quality and Innovation
エアシリンダーの推力は一次側の圧力だけでは決まりません
次回 4/5 はさらに詳しくご説明します
Q
突然ですが問題です
右図のロッドは300mm/sで前進しています
供給圧0.4MPa,ピストン受圧部面積490㎟(φ25)
のとき、ロッドの推力は
F=0.4MPa×490㎟=196Nでしょうか?
A
正解はF=(0.4MPa-0.3MPa)×490㎟=49Nです
供給エア
エアシリンダー
排気エア
背圧は0.3MPaで大気へ放出されます
供給圧
背圧
0.4MPa
0.3MPa
速度:300mm/sで前進
※当社実験による
なぜならば
エアシリンダーは当て止めによる衝撃で
ワークを落したり壊したりしないよう、
速度300mm/s以下で使われています
左図の場合、背圧を0.3MPaにするとロッドは
300mm/sで移動します
(背圧をかけないとロッドが高速で端面に衝突します)
ピストンの前後の圧力差は0.1MPaです
動力としては0.1MPaしか使われていません
だからエネルギー効率が高いエレシリンダーが選ばれるんじゃな!!
電動アクチュエーター シェアーNo.1 株式会社 アイエイアイ
24時間対応で安心 (平日24時間、土日祝日は8:00~17:00)
アイエイアイお客様センター"エイト" 0800-888-0088
魅力的な製品がいっぱい! アクセスはこちらから
http://www.iai-robot.co.jp/np/